

「失敗に負けない子」に育てる本

星 一郎 青春出版社 2004. 7.

著者は心理セラピストです。たくさんの子育ての悩みを聞いてきたそうです。その経験から「失敗に負けない子」を育てる心得を紹介しています。

- ◆親の役目は、子どもを失敗から守ることではなく、上手に**失敗を体験させてあげる**こと。
- ◆子どもが失敗したとき、「**失敗してもいいんだよ**」と声をかけてあげること。うまくできなくても「お母さんはあなたのことが**大好き**」「あなたを**応援**している」「今度はうまくいくといいね」、こんな親の姿勢が、子どもの力になる。
- ◆失敗して参っているときこそ、子どもは**親の助け**を必要としている。大きく構えて、このチャンスを有効に生かしましょう。まずは、「失敗しちゃったね」と声をかけてあげること。つまり失敗をあってはならないこととしないで、そのまま**認めてあげる**こと。
- ◆同じ失敗を繰り返す大きな理由は、**別のやり方を知らない**から。「次はどうしたらいいか」を子ども自身に考えさせることが大切。
- ◆自分で忘れ物をしないようにするには、とにかく子ども自身に困ってもらうこと。家庭では少なくとも、子どもの失敗の**尻拭いを止めて**みたらどうでしょうか。「責任をとるとは、自分で方法を考えること」と言ってあげたらどうでしょうか。